

[25_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1474984>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 25 (2), 1992-03-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

お 知 ら せ

UTSの運用停止およびUXPの運用開始について

平成3年12月24日(火)からUNIX系のOSであるUXP(System V Release 4準拠)の運用を開始します。これにともない、UTSは平成3年12月20日(金)の12時で運用を停止します。

(1) 移行スケジュールについて

UTSは平成3年12月20日(金)の12時をもって運用を停止します。OSの移行作業の後、平成3年12月24日(火)からはUXPを運用します。ただし、汎用機の入れ替えのため、平成3年の運用は24日の20時までです。平成4年は1月8日(水)から運用します。

また、UXPの利用負担金は平成4年1月11日(土)まで無料とします。この間にできるだけUXPを利用して、プログラムの動作確認や書き換えなどを行ってください。

(2) login名、パスワード、ホームディレクトリについて

login名およびパスワードはUTSのものがそのまま利用できます。しかし、ホームディレクトリは現在の /usr/usr?/利用者番号 から /home/usr?/利用者番号 に変わります。

(3) 利用者ファイルの移行について

利用者のファイルは、UTSの運用停止後、UXPのホームディレクトリ下にUTSFILESというディレクトリを作成し移行します。そこからの移行は利用者自身で行ってください。

その他、UXP移行に関するお知らせはlogin時のオンラインメッセージなどで行います。参照してください。

(システム管理掛 内線2518)

(センターニュースNo 454, 平成3年12月19日発行)

FORTRAN 77 EXへの変更に関するマニュアル対応表について

先日から公開しているFORTRAN 77 EX及び関連のソフトウェアでは、参照するマニュアルが下表のように改められましたので、お知らせします。

FORTRAN 77 関連	FORTRAN 77 EX 関連
FACOM OSIV FORTRAN77文法書 (64SP-3330-5)	FUJITSU FORTRAN77文法書 1991年6月版 (99SP-8032-1)
FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77使用手引書 V10用 (78SP-5300-4)	OSIV/MSP FORTRAN77 EX使用手引書 V12用 (79SP-5031-1)

FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77/VP使用手引書 V10用 (78SP-5680-3)	OSIV/MSP FORTRAN77 EX/VP使用手引書 V12用 (79SP-5041-1)
該当なし	FUJITSU FORTRAN VPプログラミング使用手引書 (99SP-0080-1)
FACOM OSIV FORTRAN77メッセージ説明書 V10用 (70SP-5310-3)	FACOM OSIV FORTRAN77 EXメッセージ説明書 V12用 (70SP-5321-1)
富士通 PKS文法書 V10用 (99SP-7200-1)	変更なし
FACOM PKS使用手引書 V10用 (99SP-7210-1)	FUJITSU GSKS使用手引書 V10用 (99SP-4140-1)
FACOM GKS85使用手引書 V10用 (99SP-4080-2)	
富士通 GKS85文法書 FORTRAN77編 1989年10月版 (99SP-8240-1)	変更なし
FACOM OSIV/F4 MSP TESTFORT77使用手引書 V10用 (78SP-5330-1)	OSIV #1 デバッガ使用手引書 FORTRAN, C言語用 (70SP-6430-1)
該当なし	OSIV/MSP #2 テストカバレッジ使用手引書 FORTRAN, C言語用 (79SP-4670-1)
FACOM OSIV FORTUNE使用手引書 V10用 (70SP-5730-2)	OSIV/MSP #3 アナライザ使用手引書 FORTRAN用 (79SP-5090-1)
	OSIV/MSP #4 アナライザ使用手引書 FORTRAN, VP用 (79SP-5080-1)

FACOM OSIV/F4 MSP 会話型ベクトライザ使用手引書 V10L30系用 (78SP-5692-2)	変更なし
---	------

☆ *1,*2,*3,*4 の総称は「LEBASE」です。LEBASEについてはニュース、広報等で解説する予定です。

(ライブラリ室 内線2508)

(センターニュースNo 454, 平成3年12月19日発行)

データセット・バックアップ支援ツールMTUNLOADの改訂について

1月20日(月)から標記システムのバージョンアップ版を運用しています。

MTUNLOADは、直接アクセス装置上のデータセットを磁気テープにバックアップするためのジョブ制御文を作成するコマンドで、従来の同じ目的のツールに比べ、バックアップ対象のデータセットを細かく選択できることから、公開以来、比較的多くの利用者に使われてきました。しかし、データセットの選択のために用意されているオペランドの数が多いために、それらを覚えておくことが大変で不便でした。今回、HELP オペランドを追加して手元にマニュアルがなくても使用できるように改訂した他、オペランドの省略値を若干拡張して使いやすいようにしましたのでお知らせします。

指定方法

コマンド	オペランド(省略値 指定すべき値)
MTUEX	[Help] [IL] [Dataset(* データセット名リスト)] [Volume(PUB* ボリューム名リスト)] [DSorg(* データセット編成名リスト)] [REcfm(* レコード形式名リスト)] [Space(1- 実際使用量(KB)範囲リスト)] [Create(600101- 作成年月日範囲リスト)] [Range(-254 選択データセット採用範囲リスト)] [Class(N L)] [Mtvolume(999999 MTボリューム名)] [Label(SL MTラベル名)] [Position(1 アンロード開始データセットポジション)] [Density(4 MT記録密度)] [UNIT(OPNMTA MT装置名)] [Initialize NOInitialize]

コマンド	オペランド (省略値 指定すべき値)
	[UNLoad(<u>UNLOAD.CNTL</u> アンロード JCL 出力データセット名)] [LLoad(<u>LOAD.CNTL</u> ロード JCL 出力データセット名)] [D <u>ocumennt</u> NODocumennt] [SYsout(<u>0</u> ドキュメント出力クラス)]

新設オペランドの説明

Help : オペランドの省略値を知らせ、値の入力をプロンプトする。他のオペランドとともに指定した場合、指定しなかったオペランドに関して、省略値を知らせるとともに値の入力をプロンプトしてくる。C/Rを返答すれば、省略値が採用される。
(Help 以外のオペランドの詳細に関しては、文献 1, 2 を御参照下さい。)

使用例

直接アクセス装置上に存在するデータセットのうち、FORTARN ソースプログラム (*.FORT*) とジョブ制御文 (*.CNTL) を磁気テープへバックアップするためのジョブ制御文を作成する。その際、スペース量が 94 KB 未満、または LOAD.CNTL や UNLOAD.CNTL といった名前のデータセットは除く。また、HELP 指定によって、DATaset, SPace 以外のオペランドに関しては、MTU からのプロンプトに応じて指定することができる。プロンプト行の()内が省略値。? NUMBER(1/2) や ? INITIALIZE (Y/N)- のように、(AA/BB)の形式の場合は、AA と BB の指定のみが有効で AA が省略値となる。

READY

MTUEX DA(*.FORT*!*.CNTL:~*LOAD*.CNTL) SPACE(94-) HELP

MSG: MTU STARTED.(DATE:91/11/14 TIME:13:45:14 V(V02L03) PID(C0600160))

MSG: FUNCTION OF MTU: 1=UNLOAD DS, OR 2=INITIAL LOAD

MSG: ? NUMBER(1/2)-1 . . . UNLOAD JCL を作成する。

MSG: DS-SELECTION: ? VOLUME(PUB*)- . . . C/R 押下. PUB 上のデータセットを指定。

MSG: DS-SELECTION: ? DSORG(PS!PO!DA)-PS . . . 順データセットを指定。

MSG: DS-SELECTION: ? RECFM(*)- . . . 任意のデータセット書式。

MSG: DS-SELECTION: ? CREATE(600101-)-911001-- . . . '-' を 1つだけ指定すると入力行の継続とみなされるので、2つ指定している。次行はC/Rを押下

MSG: DS-SELECTION: ? RANGE(-254)-

MSG: JCL PARM: ? JOB CLASS(N)-

MSG: MT: ? VOLUME(999999)-MYSAVE

MSG: MT: ? LABEL(SL)-

MSG: MT: ? POSITION OF THE FIRST UNLOAD-DATASET(1)- . . . MT の最初から吸い上げ。

MSG: MT: ? DENSITY(4)-

2 以上を応えると、? INITIALIZE-の

MSG: MT: ? UNIT(OPNMTA)-

問い合わせはしない。

MSG: MT: ? INITIALIZE (Y/N)-N

. . . MT の初期化はしない。

MSG: JCL-SAVING DSN: ? UNLOAD(UNLOAD.CNTL)-MYSAVEU.CNTL

Help を指定しない時、'N'

MSG: JCL-SAVING DSN: ? LOAD(LOAD.CNTL)-MYSAVEL.CNTL

が省略値で、指定した時

MSG: DOCUMENT: ? PUT OUT (Y/N)-Y

'Y' が省略値になる。

MSG: DOCUMENT: ? SYSOUT CLASS(O)-U

MSG: CHECK DS-POSITION , '1'.

MSG: HIT C.R. WHEN OK ,OR ENTER NEW DS-POSITION-

MSG: MYSAVEL.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(1) VOL(PUB152)

MSG: PREFIX (B73044A)

MSG: BIRD.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(2) VOL(PUB143)

MSG: CAT.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(3) VOL(PUB110)

MSG: DOG.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(4) VOL(PUB110)

MSG: ISLAND.FORT INCLUDED IN JCL. DS-POS(5) VOL(PUB126)

MSG: MYSAVEL.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(6) VOL(PUB152)

MSG: MYSAVEU.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(7) VOL(PUB126)

MSG: SEA.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(8) VOL(PUB115)

MSG: SKY.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(9) VOL(PUB113)

MSG: SPACE.FORT77 INCLUDED IN JCL. DS-POS(10) VOL(PUB103)

MSG: U.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(11) VOL(PUB126)

MSG: PREFIX (B73044A)

MSG: UU.CNTL INCLUDED IN JCL. DS-POS(12) VOL(PUB142)

MSG: UNLOAD-JCL WAS APPENDED TO B73044A.MYSAVEU.CNTL

MSG: LOAD-JCL WAS APPENDED TO B73044A.MYSAVEL.CNTL

MSG: PLEASE PICK UP DOCUMENT FROM PRINTER.

READY

参考文献

1. 九州大学大型計算機センター広報, Vol.19, No.2, 1986, pp.131-142.
2. 「利用の手引 センターコマンド編」, 1990年2月, pp.49-51.

(ライブラリ室 内線2508)

(センターニュースNo.455, 平成4年1月21日発行)